

いま救わなければ、消滅してしまう。

日本人の 忘れもの

フィリピンと中国の残留邦人

第26回 平和・協同
ジャーナリスト基金賞
奨励賞

第38回
日本映画復興賞
奨励賞

ナレーター：加賀美幸子 / 主題歌：甲田益也子



『原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち』河合弘之弁護士製作×小原浩靖監督作品

脚本・監督：小原浩靖 | 音楽：吉野裕司 | 撮影：小原浩靖 / はやしまこと | 企画・製作：河合弘之 (2020年/日本/カラー/98分/製作・宣伝・配給：Kプロジェクト/©Kプロジェクト) wasure-mono.com

私を日本人と認めてほしい！——フィリピン残留日本人

フィリピンには太平洋戦争以前、3万人を擁する豊かな日本人移民社会が存在した。敗戦を境に日本人の父親と生き別れたことから今も無国籍状態に置かれているフィリピン残留日本人2世たちがいる。



私は日本人。でも言葉がわからないの！——中国残留孤児

中国東北部の日本の植民地・満州国に敗戦を機に置き去りにされた子どもたち。戦後30余年を経て日本に帰国するも、言葉の壁による差別と貧困の果てに日本政府を訴えた中国残留孤児たちがいる。



映画は2つの国の残留者たち、そして、彼らを救おうとする市民たちの活躍を描きながら、私たちが生きる“日本という国の今”を浮き彫りにしてゆく。

『原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち』

河合弘之弁護士×小原浩靖監督の
2020年作品が待望の再上映！

本作のワンシーンは、2022年3月10日の国会で取り上げられ、岸田総理大臣にフィリピン残留日本人問題の早期解決を約束させることとなった。

故・なかにし礼氏が言った「国家に向けた劇的な創作行為」は、問題解決への確実な一歩となっている。

映画には社会を変える力がある！



脚本・監督：小原浩靖 撮影：小原浩靖／はやしまこと
音楽：吉野裕司 企画・製作：河合弘之「日本と原発」「日本と再生」
ナレーター：加賀美幸子
主題歌：甲田益也子 -Hard Times Come Again No More-
制作・宣伝・配給 Kプロジェクト



Official site
wasure-mono.com

@wasuremonomovie
wasuremono2020

この映画には素晴らしいという言い方は適さない。
“待望の”というか：これまでに観たことのないもの。
日本という国家に向けた劇的な創作行為だ！

(作詩家・作家 なかにし礼 推薦の言葉より)



2023年
7月29日(土)より
待望の再上映決定

ポレポレ東中野

TEL 03-3371-0088
https://pole2.co.jp

